

無機系超低汚染コーティング剤



自然の恵み(降雨)を利用して、美観を保つ。

「ニッペ クリスタコート」は、独自の無機技術から生まれた超低汚染コーティング剤です。乾燥直後から超親水性(=超低汚染性)機能を発揮します。

〈特長〉

- 1 当社最高レベルの「超低汚染性」
- 2 すぐれた弾性適性
- 3 ローラー、はけ、スプレーでの施工が可能
- 4 非危険物(水性)1液タイプ

当社最高レベルの超低汚染性



東西南北、暗所でも超低汚染性を発揮します。

＜雨だれ汚染ばく露試験-2年経過後-＞

※大阪府の交通量の多い国道沿いで実験。

一般水性塗料の塗膜上半分にニッペ クリスタコートを塗装した試験板を屋外に2年間ばく露しました。ニッペ クリスタコートを塗装していない部分にはかなりのよごれが付着していますが、塗装面にはほとんどよごれが見られず、超低汚染性を発揮していることがよくわかります。

ニッペ クリスタコート塗装面

※クリスタコートの効果は、汚染程度を低減・遅延するもの(超低汚染機能)であり、汚れを完全に防止するものではありません。

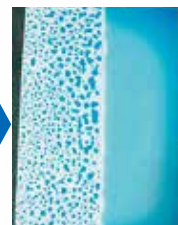
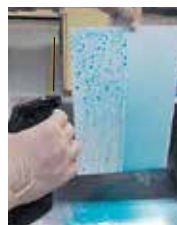
乾燥直後から「超親水性」を発現

乾燥直後から水と馴染みやすくなります。これにより、表面によごれが付着しても、水の方で洗い流すことができます。



＜親水性試験＞

一般水性塗料塗膜の右半分にニッペ クリスタコートを塗装し、乾燥後、霧吹きにて着色水を散布しました。ニッペ クリスタコート塗装面は着色水が濡れ広がり、水と馴染んでいることがわかります。また水洗いにより、着色水による汚れも洗い流しやすくなっています。

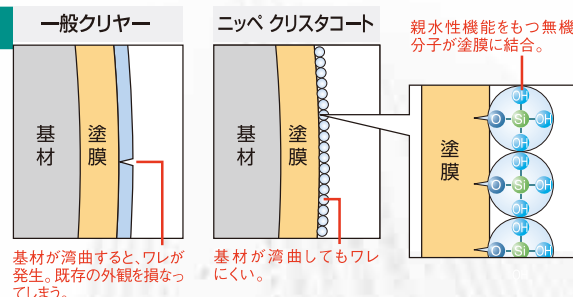


ニッペ クリスタコート塗装面

ニッペ クリスタコート塗装面

ニッペ クリスタコートのメカニズム

塗膜表面に親水性基(-OH)をもった無機分子が並んで定着します。それらが独立して塗膜表面に結合するため、ニッペクリスタコートのワレによる外観の変化や親水性機能の低下を招く心配が少なく、塗り替え直後の美しい外観を長く保つことができます。



組み合わせ上塗り例

系統	製品名
超高耐候低汚染水性2液形無機塗料	アプラウド シェラスターⅡ
1液水性反応硬化形フッ素樹脂塗料	オーデフレッシュF100Ⅲ
1液水性反応硬化形シリコン系塗料	オーデフレッシュSi100Ⅲ
セラミック・シリコン樹脂系意匠塗材	インディアートCERA

塗装基準

商品名	容量	色相	希釈剤	使用量*
ニッペ クリスタコート	8kg	無色透明	無希釈	0.04~0.20kg/m ² /回

※上塗り材とニッペ クリスタコートの塗装間隔は必ず16時間以上あけてください。

*一般水性塗膜上…0.04~0.08kg/m²/回
砂壁など凹凸、吸い込みの大きい面…0.08~0.20kg/m²/回

■乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間以上	2時間以上	1時間以上

施工上のポイント

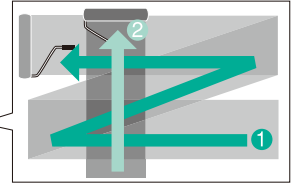
ニッペ クリスタコートは、継ぎ目を気にすることなく塗ることができる、扱いやすいコーティング剤です。しかし、塗り忘れを防止するために、下記施工方法にて施工することを推奨します。

塗り忘れ防止策

塗装は、目地、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。

塗り方

低粘度のため、横に配るように塗り広げた後、下から上に拾いながらのばしてください。



■施工上の注意事項

※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください

- 濃彩色の上には、つやむらが発生するので塗装しないでください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 液だれしやすいため養生をしっかりと行ってください。また、ローラーで塗装する場合には、ローラーをよくしごいて塗装してください。
- クリスタコートを塗装すると、塗装前と比較してわずかに光沢が低下する傾向にあるので、下地の形状などにより、むらとして目立つ場合があります。特に平滑仕上げ面では短毛ローラーなどを使用して、できるだけ均一に塗装してください。(平滑仕上げ面での推奨塗具:短毛ローラー、のりばけ、エアスプレー、低圧スプレー)
- 各種上塗りの上に塗り重ねる場合には、上塗り塗装後、必ず16時間以上あけてください。塗り重ね時間が短いと仕上がり不良、性能低下などの原因になります。
- 塗り忘れ部分には、汚れが発生する可能性があります。塗装は、目地、面、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。
- 研磨、高圧洗浄など物理的に負荷をかけた場合、性能を発揮しなくなるおそれがあります。
- シーリング材からの可塑剤の流出が多い場合など、汚れの負荷が大きい場合には、十分な効果が発揮できない可能性があります。またさび汁汚染、鳥糞などに対しては効果を発揮しません。
- 本品は水性のコーティング剤ですが、アルコールを含んでいるため若干のアルコール臭がします。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。

- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビクロス、塩ビ珪鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革などへの直接塗装は避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項 (ニッペ クリスタコート)

横倒禁止

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをすること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 本来の用途以外に使用しないこと。
- 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。
- 口をすすぐこと。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 目の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 火災の場合: 消火するために適切な手段を使用すること。

- 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。
- 施設にて保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 直射日光や水濡れは厳禁。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気/強い眼刺激/(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ/(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い/臓器の障害のおそれ/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

- 本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2023 NIPPON PAINT Co., LTD. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9320
東北支店 ☎022-232-6711	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

カタログNo.

NP-B020

TY230304T

2023年3月現在